

ちゅ
ちむ美らさ

第90号

発行: 北部農林水産振興センター
農業改良普及課

住所: 沖縄県名護市大南1-13-11

電話: 0980-52-2752

FAX: 0980-51-1013

草地の雑草 増えてませんか？
～経営や飼養管理に影響が出る前に～

北部の草地で、オガサワラスズメノヒエ、ツククサ、カヤツリグサ等のほふく型雑草がみられます。草地造成や草地更新しても、直ぐ雑草だらけの草地になる事例もあります。造成・更新後の草地の維持管理について考えてみませんか？

ほふく茎雑草の特徴

牧草が衰退した荒廃草地でも安定的に生育します。中程度の栄養価はあるので、有用ともいえます。が、牧草と比べると施肥反応に弱いので、収量は低いです。年度による気象条件の変動で収量が大きく変動するため、安定した栄養収量は見込めません。



オガサワラスズメノヒエ



ツククサ



カヤツリグサ

牧草収量は、造成2、3年をピークに減少します。草地の経年化で土壌の状態が悪化し、雑草侵入が増え、植生が変化します。牧草被度と雑草被度の植生変化は草地更新の目安になります。

土壌の変化による雑草増加と収量減の原因

- トラクタによる踏圧による土壌の緻密化
- 通気性不良による肥効の低下
- 牧草による微量元素・養分の収奪
- ミネラル組成の変化
- 表層苦土の減少

草地は一旦造成・更新したら、数年間、施肥と刈取りが繰り返されます。草地の造成・更新にはお金がかかりますので、生産性の高い草地の状態を長期間維持することが経営的にも有利です。より低コストで草地を長期間、維持・活用できるよう草地管理が重要です。

雑草被度 **10%以上** で、草地更新を検討しましょう

(担当: 幸喜香織)

目次

- 1～2P 草地の維持管理
- 3～4P マンゴー収穫後の管理
- 5P上 マンゴーコンテスト受賞者
- 5P下 薬剤散布後の動噴の洗浄
- 6P 施設野菜の害虫対策

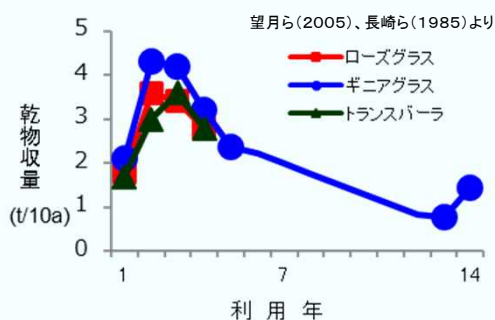


図1 採草地の牧草収量の経年変化

表1 草地更新の目安

牧草・飼料作物の手引き(1999)より改変

区分	牧草被度		
	70%以上	50～70%	50%以下
雑草被度	10%以下	更新不要	簡易更新 完全更新
	10～30%	雑草防除 簡易更新 (土壌物理性改善)	完全更新
	30%以上	-	完全更新

牧草地の雑草対策(冬期) ～除草剤の活用～

12月以降の気温低下で牧草の生育は緩慢になり、草地雑草の様相は変化してギシギシが目立ちます。経年草地の植生によって除草剤を使い分け、確実に退治しましょう。

経年草地への除草剤散布

① 2回散布で効果UP

ギシギシ退治は
小さいうちに！

牧草の生長に影響を与えない選択性除草剤「**ハーモニー75DF水和剤**」と「**バンベルD液剤**」がおすすめです。

② 除草剤のスポット散布

出穂前に手持ちの散布機で、除草剤をスポット散布します。

～ラベル記載の使用濃度・量・方法は厳守してご利用ください。～

雑草被度66%の草地



散布後 再生株

散布後 枯死株

- 薬剤散布によりギシギシは一端枯死しますが、直ぐに根茎から再生する場合があります。
- 種子は随時発芽するので、数年間にわたる除草剤の繰り返し散布が必要です。
- 草地更新により牧草収量の増収を図る場合も、土中の種子や根茎の発芽の防除を数年にかけて検討しましょう。

(担当: 幸喜香織)

伊江島・伊是名・伊平屋の取組事例

北部離島で、**トランスバーラ**で**草地更新**し、優良品種の利用を推進しています。**堆肥活用**で、**牧草収量の回復**で、**雑草のない草地の維持**を目指します。

草地更新スケジュール(雑草被度が高い場合)

3～5月				6月			7～8月		
				上旬	中旬	下旬			
梅雨前・梅雨時期				梅雨明け					
6月播種	除草剤2回	除草剤	耕起	除草剤 ^{注1)}	整地	播種	初期生育	定着	刈取 施肥
	(耕起前・播種前)		堆肥投入		施肥 ^{注2)}				

注1) 省略可。

注2) 苦土石灰等の**土壌改良材**活用

注3) 梅雨の場合は**灌水設備**を用意。

ローズグラスとバランスよく混播。降雨を期待した造成と十分な堆肥投入で定着良好(生育日数62日)



伊江島

タイミングの良い播種時期と十分な堆肥投入。トランスバーラ1回目刈取時の草勢良好(生育日数56日)



伊是名

土壌の特性のためローズグラス主体の草地。少ない刈取回数で年間収量をかせぎます(生育日数92日)



伊平屋

刈取後も**適正な施肥管理**で**牧草密度の向上**と**草地の維持**を図っています

(担当: 幸喜香織、嘉手刈圭太、普照恭多、與座朝成)

マンゴーの収穫後の管理について

1 十分なかん水と早めのお礼肥で樹勢回復を！

収穫後の樹勢回復が遅いと次年度の収量に大きく影響します。**お礼肥は収穫が8割終わった時点で速やかに行い**、さらに**十分なかん水**をして、早めの樹勢回復を図りましょう。また、収穫後は**速やかにビニールを除去**しましょう。それにより高温対策に加えて、雨水がかん水代わりになったり、害虫増加を抑制する等の効果が期待出来ます。

樹の状態	肥料の種類	3年木	4年木	5年木以上
8割収穫終了	マンゴー専用1号	80kg(4kg)	120kg(6kg)	140kg(7kg)

10a(300坪)当たり施肥量 ()内は窒素含量



3年木	4年木	5年木以上
2kg	3kg	3.5kg

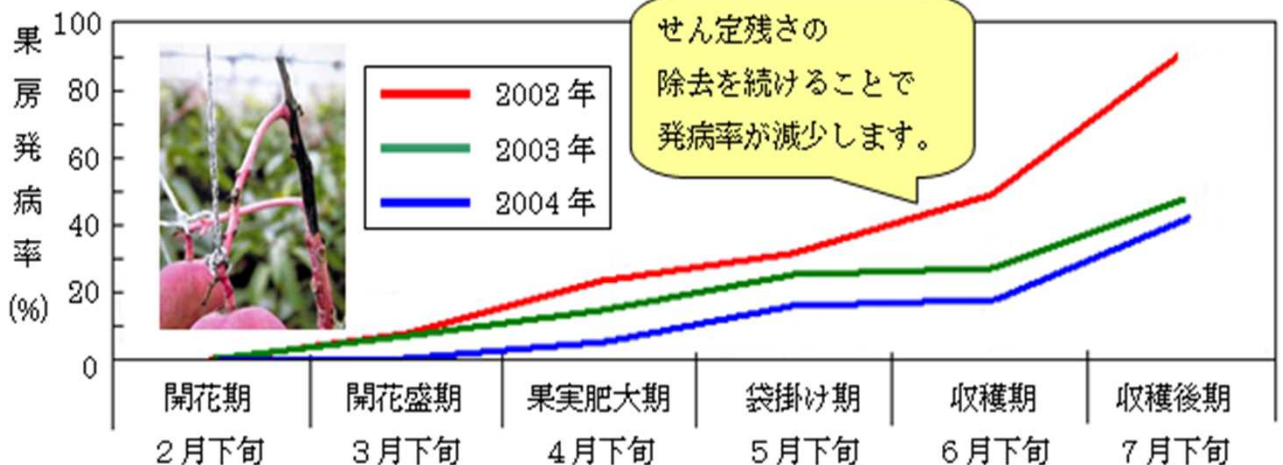
10aで40樹植え付けの場合
1樹あたり



2 次年度の収量確保のため収穫後の新芽は大事にしよう！

光合成能力の高い**新葉を多く確保**することは、早期樹勢回復に繋がり、開花率UPが期待出来ます。逆に収穫後に発生する新芽が害虫にやられると、次年度の収量に大きく影響する可能性があります。

収穫後の新芽発生時期には、アザミウマや炭そ病等の病害虫が多く発生します。花芽分化期までは剪定残さの片付け、農薬のローテーション散布等、**徹底して病害虫防除**に努めましょう。



3 収穫後の枝管理は樹全体のバランスを整える事が重要

収穫後は**果軸のみ**の剪定が基本です。切り戻し剪定はせずに、どうしても邪魔な枝は間引き剪定をしましょう。

節の上(果軸のみ)から剪定→

1節の長さ20cm以上
1節の葉数15枚以上

①発生した新芽が強ければ、**緑化後**に2~3本して整枝



平均的な強さの枝を2、3本残す

②発生した新芽が弱ければ、**緑化前**に1本に絞って整枝



最終的に全ての結果枝の生育を揃えるイメージ

未着果枝の剪定について

基本的に、未着果枝は無剪定の方が次年度の開花率が高まります。混み合ったり、間延びしている枝など、どうしても邪魔な未着果枝は、切り戻し剪定はせずに、間引き剪定をして、今後の枝作りの準備をしておきましょう。

しかし、収穫後の樹勢が弱った時期に、たくさん間引き剪定をすると樹勢回復に影響します。未着果枝が多い樹については、剪定量を考慮して下さい。

結果枝育成の目安

収穫後は2節伸ばす
1節の長さ20cm~30cm
枝の太さ5mm~10mm
1節の葉数15枚以上
枝の総数は200本~300本

(担当: 島尻 庸平)

沖縄県マンゴーコンテスト受賞者紹介

毎年開催されているマンゴーコンテストは今年で11回目となりました。北部地区の出展数は県内最多の21点となり、個人ではサンライズファーム大城さんが2年連続となる「優秀賞」を受賞しました。また、「団体賞」では宜野座村が初めて受賞しました。北部のマンゴーを盛り上げていくためにも、来年度も上位入賞目指して頑張っていきましょう！



大城大輔(サンライズファーム)
宜野座村・栽培歴12年



樹作りやハウス内の環境制御に重点的に取り組まれています。



宜野座村熱帯果樹産地協議会
(平成25年設立)



JAや村役場、普及課と連携し、産地として生産者の技術向上に努めています。

(担当: 島尻 庸平)

農薬散布器具ちゃんと洗えていますか？

●農薬散布器具は、使用後に十分洗浄をしていないと、タンクやホース中に残った農薬が、次に使用した作物に散布され、結果として残留農薬として検出されてしまう恐れがあります。前回使用時の薬液が残留していると**作物の出荷停止、回収**につながる可能性があります。

●栽培開始時期は除草剤が残留し薬害となる事例が毎年みられます。

※可能な限り除草剤で使用する器具と農薬で使用する器具は分け、残留のリスクを減らす。



※オクラほ場の角で新葉のヤナギ葉が発生。ホース内の洗浄が不完全で除草剤が残留していた可能性

■動噴洗浄手順

- ①タンク内に残った薬液を完全に抜く。
(残った薬液や洗浄後の廃液は河川に流れ出ないように作物が植えられていない土にこぼす。)
- ②タンクや動噴を洗浄する
(余水口のホースはタンク外に出す。)
- ③水を噴霧して動噴内やホースや洗浄する。
(ノズルは外して洗浄)
※50mホースに約4リットルの薬液が残っています。
- ④次回使用時に、洗浄されていることを確認し、
コックを開いた直後の薬液は作物にかけないようにする。

(担当: 知念康太)



施設野菜の害虫対策

害虫は「入れない」「増やさない」「出さない」を徹底しましょう！

今回は「入れない」「増やさない」「出さない」の3つをポイントに各種防除方法を紹介します。これらの防除方法を組み合わせて効果的に害虫対策を行いましょう！

施設野菜の3大害虫



ミナキイロアザミウマ

葉の食害(インゲン)

タバコナジラミ

白化症状(インゲン)

ワタアブラムシ

葉の被害(ゴーヤー)

害虫を入れない対策

ハウス内の雑草は除去！

- ☑ハウス内外の除草の徹底
- ☑被覆資材の活用で侵入防止

開口部には必ず防虫ネットを張ります。

注) 目合0.4mmは防除効果が高いものの通気性が悪くなるため、目合0.6mmを使用し、他の資材を組み合わせで防除効果を補います。

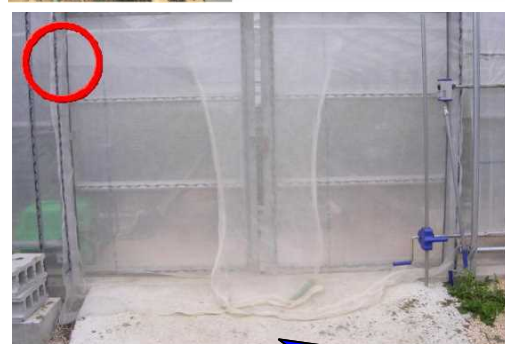
出入口にも必ず二重カーテンを設置します。

ハウスの被覆に紫外線カットフィルムを使用します。

注) ナスの果実の着色不良、ミツバチ等の活動を阻害する、植物が徒長しやすくなる等の注意点があります。

- ☑健全な苗の使用

購入時や定植時に害虫の有無をチェックします。



二重カーテンで害虫の侵入防止！



蒸し込み処理で害虫の持ち越し防止！

害虫を増やさない対策

- ☑粘着板・シートの設置で早期発見・早期防除

発生を確認したらすぐに防除します。

黄色(コナジラミ類・アブラムシ類・アザミウマ類・ハモグリバエ)

青色(ミナキイロアザミウマ)

- ☑播種・定植時の粒剤処理
- ☑薬剤散布は葉裏にかかるように丁寧に散布
- ☑系統の異なる薬剤をローテーションで使用

害虫を出さない対策

- ☑適切な残さの処分

残渣は穴を掘って埋めるか、古ビニール等を掛けておきます。

- ☑栽培終了後のハウス蒸し込み処理

収穫終了後は作物の株元を引き抜き完全に枯死させます。

50℃で1～2週間蒸し込みを行います。

温度が確保できない時期は作物が枯れてから20日程度蒸し込み害虫を餓死させます。

注1) 灌水設備が高熱で破損しないよう、天窗・側窓を少し開け温度が上がりすぎないように調節します。

注2) 蒸し込み時に雑草があると効果が得られないため、除草を行うこと。